

【NEWS RELEASE】

2020年6月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ハートスの「SMBCなでしこ私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ハートス（代表取締役社長：前田 征道）の発行する「SMBCなでしこ私募債」を買受けいたしました。

「SMBCなでしこ私募債」は、私募債買受け時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、株式会社ハートスに対する診断結果は、今後、女性活躍が期待できる「女性活躍のグロース企業」となりました。

特に、株式会社ハートスでは、以下のような取組と実績を有しておられます。

最近では志望者・採用者の約80%を女性が占め、女性管理職比率は4年連続で上昇し、直近では16.9%

技術面での専門性の高い人材向けに、マイスターやエキスパート等の管理職階を設け、評価・登用システムの透明化・明文化への取組を実施

オフィスのレイアウトによってコミュニケーションを活性化させ、柔軟で効率のよい働き方を推進

さらに同社では、今後の更なる女性活躍推進に向け、経営トップが、「女性の視点を会社経営（チーム運営・部署運営を含む）に活用し、成果の向上を実現する（成果＝売上高・粗利益率）」ことを宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下をコミットしておられます。

- ・女性管理職割合について2021年度開始時点で15%を維持する（チャレンジ目標20%）
- ・リーダー層（グループリーダー・チームリーダー・所長（非管理職））の割合について、恒常的に20%以上を維持する（現在23%）
- ・産休・育休取得後の業務について、能力活用と働きやすい環境を考慮し、人事グループ主導の下、休暇前部署と連携を強め、活躍できる場を提供する。その為の部署として営業支援グループ、業務支援グループ（仮）を設立する。

三井住友銀行では、「SMBCなでしこ私募債」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

() “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。